

平成29年3月期

第2四半期決算説明資料

平成28年11月8日

平成29年3月期 第2四半期決算概要

平成29年3月期第2四半期損益計算書

単位:百万円

	前第2四半期	当第2四半期	前年同期比	備考
売上高	7,787	7,884	101%	
売上総利益	1,831	2,164	118%	
販売費及び一般管理費	1,848	1,970	107%	
営業損益	△17	193	-	
営業外収益	18	17	96%	
営業外費用	8	17	206%	
経常損益	△6	194	-	
税引前四半期純損益	△6	194	-	
法人税等	△1	60	-	
四半期純損益	△5	134	-	

平成29年3月期第2四半期貸借対照表

単位:百万円

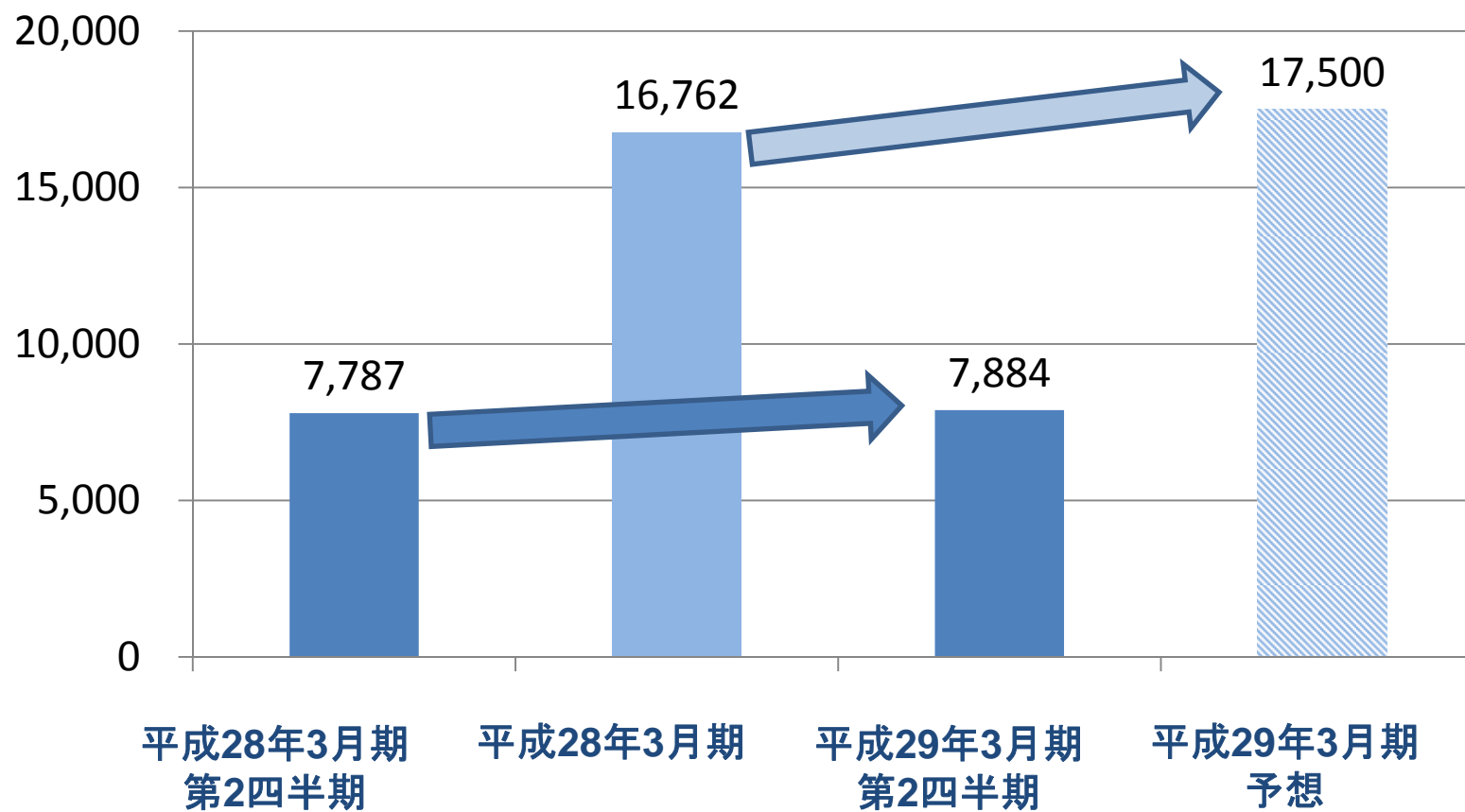
資産の部	前第4四半期	当第2四半期	備考
流動資産	8,525	8,552	
現金及び預金	6	5	
受取手形・売掛金・電子記録債権	6,384	5,335	
棚卸資産	1,688	2,283	
繰延税金資産	299	299	
その他流動資産	145	629	
固定資産	4,025	3,962	
有形固定資産	2,121	2,083	
無形固定資産	274	247	
繰延税金資産	780	781	
投資その他の資産	848	851	
資産合計	12,550	12,515	

平成29年3月期第2四半期貸借対照表

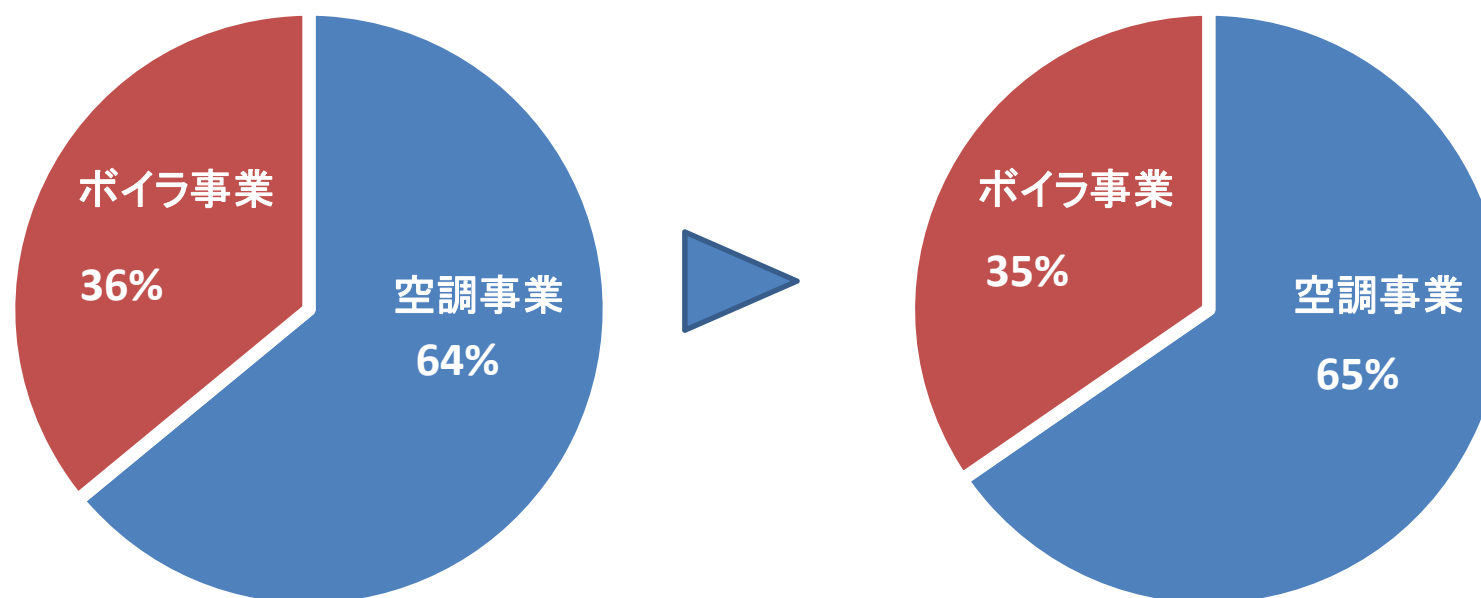
負債・純資産の部	前第4四半期	当第2四半期	備考
	単位:百万円		
流動負債	5,704	5,542	
支払手形・買掛金・電子記録債務	3,721	3,893	
未払法人税等	154	101	
その他流動負債	1,828	1,547	
固定負債	2,523	2,613	
退職給付引当金	2,477	2,583	
その他固定負債	45	30	
負債合計	8,228	8,156	
資本金	1,460	1,460	
資本剰余金	1,228	1,228	
利益剰余金	1,635	1,669	
自己株式	△22	△23	
株式等評価差額	20	23	
純資産合計	4,322	4,359	
負債・純資産合計	12,550	12,515	

売上高の推移

単位:百万円



売上高構成比の比較



平成28年3月期
第2四半期

平成29年3月期
第2四半期

事業区分別分析

空調事業

- ① 機器本体の売上高は、付帯工事物件の増加により、前年同期を上回りました。
- ② 改修改造工事・メンテナンスの売上高は、大口の改修改造工事が減少したため、前年同期を下回りました。

ボイラ事業

- ① 機器本体の売上高は、大型ボイラ案件が減少したため、前年同期を下回りました。
- ② 改修改造工事・メンテナンスの売上高は、前年同期並となりました。

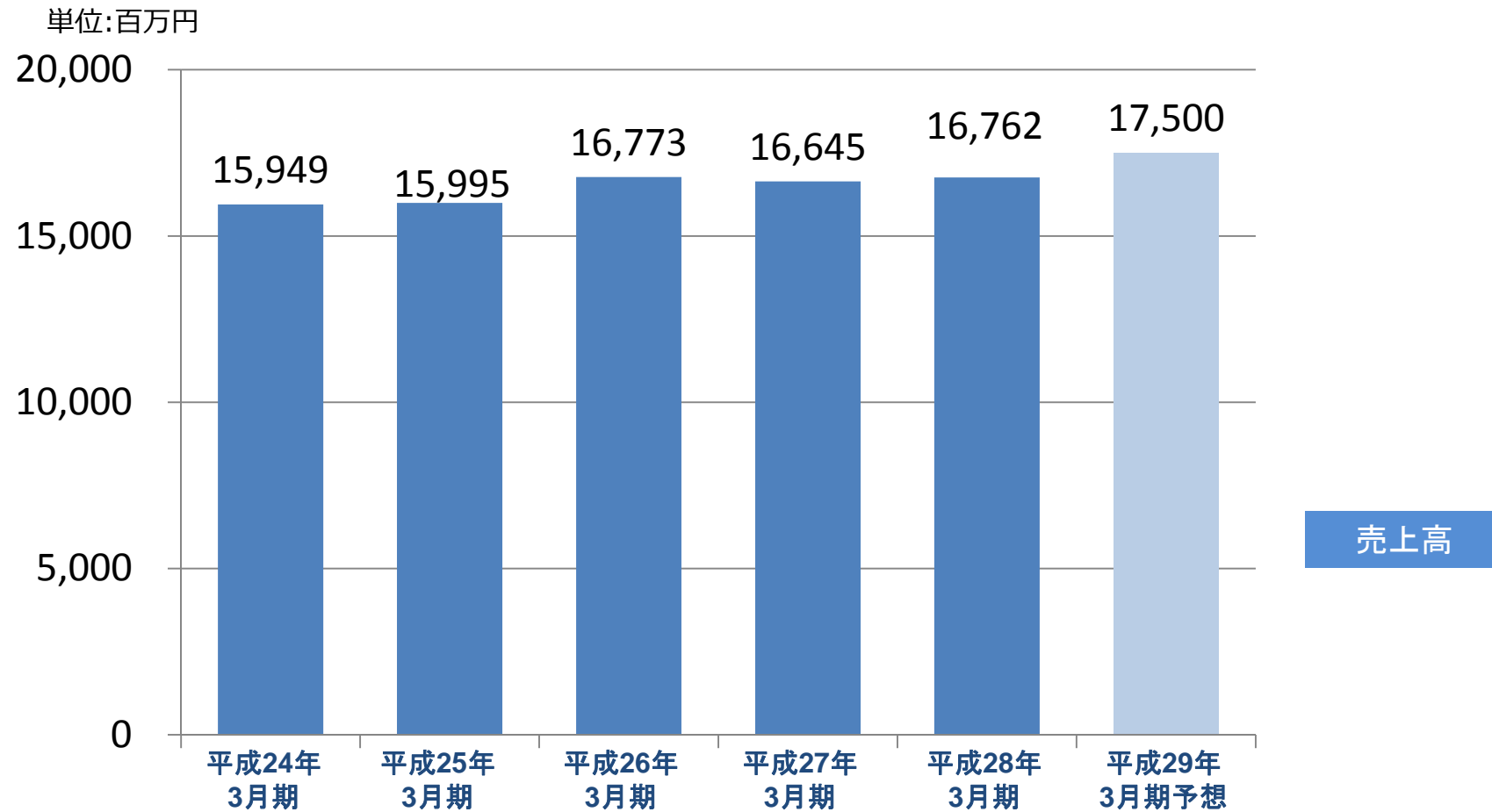
平成29年3月期 業績予想

平成29年3月期の業績予想

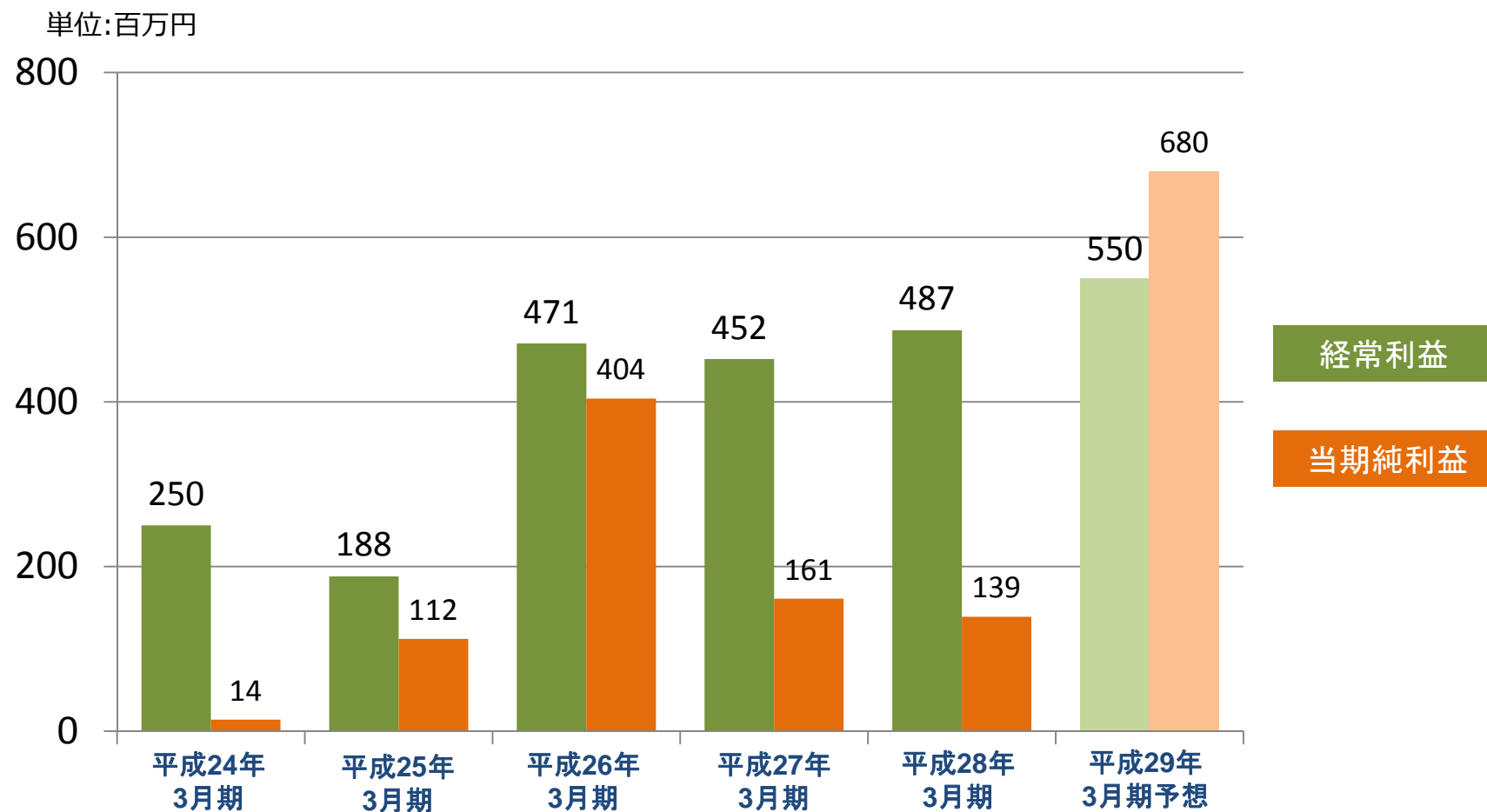
単位:百万円

	平成28年3月期	今期予想	前期比
売上高	16,762	17,500	104%
営業利益	412	550	134%
経常利益	487	550	113%
当期純利益	139	680	489%

売上の推移（予想）



利益の推移（予想）



事業区分別計画

空調事業

- ① 「省電力」「高効率」「排熱の高度利用」をキーワードに、機器単体のみでなく空調設備全体の省エネルギーを提案するソリューション営業活動の更なる強化に取り組んでまいります。
- ② 主力機種である吸収冷温水機「エフィシオ」については、平成27年4月の主要機種ラインアップ完了により、業界トップレベルの高性能・高効率を前面に、更なる拡販に努めてまいります。

ボイラ事業

- ① 小型貫流ボイラ「WILLHEAT（ウィルヒート）」を平成28年10月に市場投入いたしました。お客様の高効率・省エネルギーへの要望に幅広くお応えすることで市場でのシェアアップを図ってまいります。
- ② 「排熱の高度利用」を目指し、川崎重工グループのガスタービン・ガスエンジンを中心に、排熱ボイラを採用いただけるよう積極的に取り組んでまいります。

本資料に関する問い合わせ

「快適」をあなたの^{いま}現在と未来へ

 **川重冷熱工業株式会社**

企画室 経営管理部

TEL 077-563-1111

ご注意

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控え下さるようお願いいたします。